

〈M〉 **景観デザイン**

(春学期、秋学期 2単位)

古田 均

〈C〉 Landscape Design

■授業概要

景観とは人間を取り巻く環境の眺めといわれている。景観はドイツ語の Landschaft、英語の Landscape の訳であり、街並みや屋敷森、棚田、漁港など人工的な（人間の手が加わった）ものを指すことが多い。

本講では、この景観のデザインについて講義する。まず、景観とは何かについて説明し、デザインの歴史について解説する。次に、デザインと設計の違いについて述べ、設計論について講義する。そして、公共構造物の景観デザインについて説明する。具体的には、景観デザインの手順を紹介し、例を用いて具体的に説明する。最後に、景観デザインの実例として、橋の景観、町並みの景観、道路景観、水辺および河川の景観、港湾の景観、公園の景観、都市デザインを取り上げ、それぞれの景観デザインについて詳述する。また、ユニバーサルデザインとの関係について述べ、最後にまとめを行う。

■到達目標

景観とは何か、デザインと設計との関係、景観デザインの手順を理解させ、実際に公共構造物の景観デザインが行えることを目標とする。

■授業計画

1. 景観とは？
2. デザインとは？
3. デザインと設計
4. 設計論
5. 公共構造物の景観デザイン
6. 景観デザインの手順と実例
7. 景観デザインの例（1）橋の景観
8. 景観デザインの例（2）町並みの景観
9. 景観デザインの例（3）道路景観
10. 景観デザインの例（4）水辺および河川の景観
11. 景観デザインの例（5）港湾の景観
12. 景観デザインの例（6）公園の景観
13. 景観デザインの例（7）都市デザイン
14. ユニバーサルデザイン
15. 景観デザインのまとめ

■授業時間外学習

授業資料、教科書、ノートを読み返し、授業内容の理解に努めるよう復習をすること。

■成績評価の方法

定期試験（筆記試験）の成績と平常成績で総合評価する。

定期試験（60%）、小テスト（20%）、レポート（20%）

■成績評価の基準

提示した資料の理解、および講義内容の理解が十分であるか。

■教科書

■参考書

■備考